

職域総合部会 個別委員会 女性獣医師活躍推進委員会報告の概要

- 1 検討テーマ：女性獣医師の活躍推進のための対策について
- 2 検討の経過：委員会の開催2回（令和元年9月20日・令和3年5月14日（書面）、ほかメール等による意見交換多数回）
- 3 報告の概要：

女性獣医師支援特別委員会（平成25～26年度）が「女性獣医師が活躍しやすい環境はすべての獣医師が活躍しやすい環境である」をコンセプトに提案した対策、及び女性獣医師支援対策検討委員会（平成27～28年度/平成29～30年度）がそれぞれ新たに提案した対策について、進捗状況や残された課題を整理し、改善策、今後の課題と各関係機関等への提言を取りまとめた。

（1）女性獣医師の活躍推進のための理解醸成

農水省補助事業「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」により、日本獣医師会獣医学術学会年次大会（東京）において市民公開シンポジウム「獣医師の働き方改革、新たなステージへ乗り遅れないためのヒントー」、獣医学系大学において「獣医学生を対象とした女性獣医師の就業について考えるセミナー」を開催し動画を女性獣医師応援ポータルサイト（サイト）に掲載した。開催の方法や内容等に工夫を加えつつ継続することが重要である。

（2）仕事を続けやすい・復職しやすい環境づくり

短時間勤務等勤務形態の多様化、出産・育児休暇が取りやすい環境づくりの参考事例をサイトに紹介したほか、日本獣医師会HPの求人情報の検索等の利便性を高める必要性を指摘し、見直しが進められている。

（3）情報プラットフォーム（女性獣医師応援ポータルサイト）の充実

サイトの、ロールモデルの紹介、女性獣医師の職場の実態や働き方の紹介、eラーニングコンテンツ等を更新し充実を図った。リンク先、閲覧数が増加したが、一層の活用促進を期待したい。

（4）獣医学系大学の女性教員数等の調査

平成30年度から女性教員数等の調査を、令和2年度から「獣医学系大学における男女共同参画による取組み」の調査を行って取りまとめ、サイトに

公開した。状況は改善されておらず、取組みの強化が求められる。

(5) 目標の設定等

① 地方獣医師会の女性役員数について、平成 29 年に「女性役員がいない地方獣医師会は 1 名を、いる地方獣医師会は複数名にすることを、2020 年頃を目途にめざす」とし、さらに令和元年に「2030 年までに、獣医師会の女性役員を 30%以上に、女性の獣医師会加入率を男性と同じにすることをめざす」としており、調査し結果を公表した。2020 年目標は、女性役員がいない地方獣医師会が 14 あり、達成できなかった。2030 年目標の達成に向け、取組みの一層の強化が必要である。

② 日獣ロゴ等の活用

獣医師としての社会的使命の自覚や誇りを共有し、加入促進にも繋がるよう、日獣ロゴの名刺等への印刷とバッジの着用が提案された。ロゴの使用については、令和元年 7 月 12 日付け事務連絡で会員への周知と利用促進の協力依頼がなされており、引き続き、具体的な取組みの推進が望まれる。

③ 地方獣医師会の定期アンケート

平成 28 年度から実施してきた地方獣医師会における取組の調査を、令和元年度により詳細な「女性獣医師活躍推進のための取組状況の調査」に変更して実施し、結果を取りまとめて公表した。令和 2 年度は実施を見送ったが、今後は定期調査の一つとして継続し、有用な事例の紹介等を行い、取組みの加速化を期待する。

(6) 今後の対策の推進のために

平成 25 年に最初の委員会が設置されて 8 年。女性獣医師だけでなく、獣医師を取り巻く環境は少しずつ明らかになり、必要な対策もできるところから進められ、残された課題は解決の難しいことが少なくない。

新たな対策を提案することはしなかったが、これまでの対策についての課題、改善の方策は具体的に示した。先進的な取組みを実践している地方獣医師会、大学、職場等の事例を積極的に紹介すること等により、それぞれにおける取組みを推進するとともに、日本獣医師会としての取組みが求められている対策の進捗の確認、加速化が必要である。